

インクルーシブの窓

令和6年4月 富山県教育委員会教育みらい室特別支援教育課



高等学校巡回指導員より～手記「訪問を振り返って」(2)～



「巡回指導員に何をお願いしたらいいの?」「スクールカウンセラーとどう違うの?」と、高等学校の先生方からよく聞かれます。

左のリーフレットをご覧ください。巡回指導員は、気がかりな生徒について、その支援内容や方法を先生方と相談し、生徒が充実した学校生活を送れるようお手伝いをする、いわば『応援団』です。

実際の様子を紹介します。



○ 研修支援

「発達障害の特性」「支援のポイント」「合理的配慮」「授業のユニバーサルデザイン化」等について講義をしました。授業のユニバーサルデザイン化では、先生方にご自分の授業を振り返っていただきました。

教室内の環境整備、授業の組み立て、生徒への言葉かけ、板書等、特に意識していなくてもいろいろ工夫しておられる様子がうかがえました。

これからも、生徒の特性を理解し、分かる授業、参加できる授業を目指したいものです。

○ 生徒の実態把握と指導助言等

支援についての相談では、実態、支援経過、課題となる点等を事前にまとめていただき、それを参考にしながら生徒の発達の特性等を伝えて支援の方向性を助言しました。ケース会議の場合は、複数の教員で情報を共有することで、新たな気づきや校内の一貫した支援の実現につながります。

授業見学を行い、具体的に改善点を助言したり、生徒や保護者との面談を行ったりする場合があります。また、個別の教育支援計画の作成のお手伝いもしますが、合理的配慮についての質問が増えてきています。

学校の事情に応じてですが、学年・分掌を含めた横と縦の連携・教員間の共通理解をスムーズに図ることのできる組織作りが大切だと思います。

○ 関係機関、進学先、就職先との連携に関する助言

卒業後や在学中の進路変更を見据え、就労に関する機関や通信制・定時制高等学校等に出向いて情報収集を行い、必要に応じて提供しています。「大学では発達障害のある学生にどのような支援を行っているのか知りたい」という質問を受けたり、特別支援学校の見学に同行し、転学につながったケースもあります。

高等学校在学中には、現在の学校生活を含め、卒業後に充実した生活を送るためにも、生徒自身が「自分を知る」自己理解を深めてほしいと願っています。